

## 母校「陸上競技部」との交流会を開催

日 時 平成 30 年 11 月 5 日（月） 16 時 30 分～  
場 所 イフレ館 2 階  
出席者 陸上競技部 1 年、2 年、3 年計 23 名  
顧問井上先生他 2 名、岡田教頭  
同窓会 大野理事長他 4 名

本年度の『在校生との交流会』は「陸上競技部」取材しました。  
松本部長を中心に毎日放課後 2 時間みっちり練習に励んでおられます。  
中学から陸上部に入っていた人は半数で残りの人は高校から始められたそうです。  
長距離 6 人、短距離 9 人、円盤投げ、ハンマー投げなど 3 人、競歩 1 人で各種目は自分で選んだということです。

顧問の井上先生が往年のテレビドラマ「青春とはなんだ」に出てくるような熱血漢で陸上部をグイグイと引っ張っていかれています。

指導者としてのモットーは挨拶がしっかりでき、おもいやりを持ち保護者、マネージャー、チームメイトにささえてもらっていることへの感謝を忘れないよう、競技者というよりも人間として成長してほしいと熱く語られました。

県大会で準決勝進出という素晴らしい快挙をあげたのは女子 4×400m です。  
井上先生が、今後は駅伝にも力を入れたいとおっしゃっていました。  
駅伝の良さは個人力ではなく全員で頑張れば結果を残せることです。  
練習の積み重ねで記録が伸びていく、もっと可能性を広げてやりたいそうです。  
同窓会会員の皆さん、息子や孫に陸上の長距離を薦めて下さいと言われました。

お揃いのジャージを着てインタビューに参加して下さい陸上部の皆さん、貴重な時間をさいていただき有難うございました。

陸上部をもっと魅力あるクラブに変えていけるのは井上先生しかいません。

今後の活躍を楽しみにしています。

遅くまで取材にご協力していただき感謝しています。

広報部委員会

